

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和4年5月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.52)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



豊似小学校の第1回学校運営協議会より

5月17日に豊似小学校会議室にて、今年度第1回目の学校運営協議会が開催されました。議事「学校運営への意見」では、コロナ禍での教育活動推進の対応等について意見や質問があり、学校からの説明で共通理解につながりました。

また、熟議では重点教育目標を意識した教育環境を生かした取組について意見交換を行いました。豊似の地域性を生かした取組案が多数出されましたので、主な内容を紹介いたします。



《熟議：教育環境を生かした取組》

・地域の人を子どもに覚えてもらう活動を行う ・地域の歴史や昔の遊び、農作物の育て方などを地域の人が子どもに教える ・周りの大人が子どもを褒める、認める、信じるが必要 ・基本的な生活習慣づくりを進める ・家族の一員としての役割を自覚させる ・色々な場面で、子ども一人一人の活躍の場をつくってあげる ・感染リスクの少ない野外での活動場面を考える ・全校で同じ課題に取り組む学習も必要



＊上記の意見を踏まえ、具体的に取組む内容を次回の学校運営協議会で決定します。

広尾中学校の第1回学校運営協議会より

5月19日に町コミセン大ホールにて、今年度第1回目の学校運営協議会が開催されました。議事「学校運営計画について」では、「各教科等における指導の重点」、「教育資源を最適化する学校運営計画」について、学校から提案説明があり質疑応答の後承認されました。関連して現在の部活動の加入状況や今後の対応などについても提示されました。



また、熟議「教育環境を生かした取組」では、学校が重視している「ふるさと学習」の取組の一つである職業体験学習について意見交換を行いました。地域の教育環境をどのよ

うに活用したり、支援をいただいたりしたら効果的かについて深めることができましたので、主な内容を紹介いたします。

《熟議：教育環境を生かした取組～職業体験学習について》

・企業への依頼の際には、体験学習の内容を細かく分かりやすくするとよい
・地域おこし協力隊の方の協力も得られるのではないか
・商工会と連携して進めるとスムーズにできるのではないか
・広尾高校生の職場体験学習の進め方も参考にするとよい
・学校では体験発表会の開催も予定している



＊上記の意見を踏まえて学校と運営協議会事務局が連携しながら進めることとなります。

◇6月には、広尾小学校と広尾高等学校の第1回学校運営協議会が開催されますので、次号で会議内容をお知らせいたします。

重点教育目標を目指した授業：広尾小

各学校では、今年度の重点教育目標を目指して、日々各教科等での授業が展開されています。今回は、広尾小学校の重点教育目標「強い心をもち、よく考えて行動する子どもを育てる」を目指した授業の様子を紹介します。参観させていただいたのは、6年1組の国語の授業（単元名：筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう「雪は新しいエネルギー」）です。



子どもたちは、自らの力でどのように学習を進めるか、どのように情報を集めたり、まとめたりするかを考えていました。このように解決の方法を自分で考えるような活動を通して、探究力や自己決定力が確実に身に付いていくと思いました。中には、「家庭学習で考えてきてもいいですか」という声もあり、学びの連続性が育ってきていることも分かる授業でした。

授業全体を通して、個別最適な学びと協働的な学びへ自ら向かっていこうとする子どもたちを育てたいと願う担任の先生の強い思いが感じられました。